

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書（実績）

提出区分		実績	整理番号	9	課題区分	C	令和7年4月28日	
横断的な課題		収益性の高い農業・国際競争力の高い観光業の振興						
地域重点政策		北信州の自然を活かした、収益性の高い農業・国際競争力の高い観光業の振興					北信地域振興局	
実施機関		北信地域振興局			担当課	所属	北信建設事務所整備課	
事業名		サイクルツーリズムモデルコース整備事業				電話	0269-23-0793	
						E-mail	hokuken-seibi@pref.nagano.lg.jp	
事業概要	目的 (目指す姿)	北陸新幹線飯山駅開業及び北陸新幹線延伸効果を、ウインターシーズンのみならず、グリーンシーズンへも波及させるため、サイクリングモデルコースを整備し観光誘客や地域振興を図る。						
	現状と課題	・令和5年度までに、「Japan Alps Cycling Road」のルート上の国道及び県道への矢羽根や案内看板設置を完了 ・今後、利用者の増加や地域振興に結び付けるため、PR推進や走行環境整備が必要						
	内容 (変更後の内容)	【アンケート調査の実施】 ・「CYCLE MODE東京（4月6,7日）及び大阪（3月1,2日）」へ参加し、北陸新幹線延伸により増加が予想される首都圏、関西圏のサイクリストに対して課題や要望等についてのアンケート実施及びPR実施。 ・アンケート結果を基に今後のPR活動、走行環境の整備を促進し、利用者増、地域振興を図る。（実施に際しては地域振興局商工観光課などと連携） 手法：直接聞き取り及びFormsを用いたアンケート調査 目標サンプル数：150件 調査内容（案）： ①利用者自身の基本情報（性別、年齢、居住地、経験等） ②サイクリングロードを決定するための情報 ③サイクリングで利用する施設 ④サイクリングルートに求めるもの ⑤サイクリングで危険に感じたこと ⑥普段使っている情報収集の媒体 ⑦JACR、信越自然郷ルートの認知度 ⑧おすすめのサイクリングルート など 【自転車交通量調査の実施】（別途費） ・令和6年10月1日（場所：壁田交差点 24h：7時～7時） 【舗装修繕の実施】（別途費） ・（一）曾根藤ノ木線 飯山市 中条～藤ノ木 L＝約360m ・（主）飯山野沢温泉線 飯山市 前坂 L＝440m						
	事業期間	令和6年4月 ～ 令和7年3月						
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等		実施内容		計画(実績)額		備考	
	サイクルツーリズムモデルコース整備事業		・CycleMode大阪・東京でのアンケート調査及びPR活動		366,600		職員旅費 信州中野～山田駅（大阪3泊4日） @69,000円×4人【276,000円】 信州中野～東京（2泊3日） @45,300円×2人【90,600円】	
合 計				366,600				
指標及び達成状況	成果指標			目標値		成果		達成状況
	アンケート調査人数			150人以上		533人		○ 達成
	課題・要望等の把握			10件以上		16件		● 一部達成
	自転車交通量の増加(合庁前・交通センサス)			30台／日以上		21台／日		○ 未達成
事業実績・成果	【事業実績】 ・アンケート調査人数:533人 （内訳 サイクルモード東京:93人、同大阪:440人） ・課題、要望等の把握:16件 （内容 きれいな舗装、分かりやすいルート案内、休憩施設など） ・自転車交通量調査:21台／日(調査日:令和6年10月1日) 【成果】 ・サイクルモード東京、大阪において、飯山市、地域振興局等と連携し、多くの方々にアンケート調査を実施し、課題等を把握することができた。また、合わせてPR活動も行った。 ・課題、要望については、「きれいな舗装」を求める要望が多く、地域戦略型公共事業において、舗装修繕を要望し、令和7年度には一部予算措置される見込み。							
今後の方向性	今後も、関係機関と連携し積極的に自転車利用者の声に傾け、利用者が増加するよう快適な走行空間を確保するとともに、グリーンシーズンの観光誘客や地域振興のためPR活動に取り組む。							